

(別紙4(2))

事業所名 : グループホーム ころの里

作成日 : 平成26年10月20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化及び看取りについては、方針の明文化は無いが、利用者及び家族の意思も尊重し一人ひとりの状況に応じて医療機関等を紹介する方向で話し合っているが、事業所の現状に即した指針の検討が望まれる。	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	事業所の現状に即した指針の検討を行う。(株式会社ころで平成21年度から作成している「当施設における看取り介護及び同意書」を利用者に説明する。)	1ヶ月
2	35	消防避難訓練終了後は実施記録を作成し、日頃の安全対策や次回の訓練に活かして行くことが望まれる。	今回の訓練から実施記録を作成する。	名護消防署では消防用設備の点検結果報告書の提出はしているが、実施記録は義務づけられていない(自主訓練計画を作成時、消防署と細かに打合せしている)が今回から作成することとした。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。